京都市
CITY OF KYOTO

＜報道発表資料＞
（経済同時）

令和８年１１月２日
京都市産業観光局企業誘致推進室

「大学＆銀行系 VC のトップが語る日本・京都のスタートアップの未来 ～人材・企業の集積に向けて～」を開催

～令和８年度 Kyo-working イベント第２弾～

京都市では、多様な魅力にあふれるビジネス都市“京都”で暮らし、働く、新しいワークライフスタイル「Kyo-working｜京ワーキング」を提唱し、積極的に企業の誘致に取り組んでいます。

この度、Kyo-working イベントとして、京都のスタートアップ界隈の未来をテーマとしたトークイベントを開催します。

本イベントでは、日本を代表する大学及び銀行系 VC（ベンチャーキャピタル）５社の幹部の皆様をお招きし、日本・京都のスタートアップ企業の現状や今後の展望について、国内外の人材や企業の集積の可能性を見据えつつ、熱く語り合っていただきます。

１　日　程

令和８年１２月１６日（水）午後６時３０分～８時３０分（予定）
受付開始：午後６時～

２　開催形式

現地開催のみ
場所：丸北ラウンジ（〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル１階）
定員：50 名
対象：スタートアップ、VC、金融機関、事業会社等

３　内　容

・　日本国内での特徴的な投資事例、全体のトレンド
・　スタートアップ企業が成長するために欠かせないもの
・　スタートアップ企業と大企業とのマッチングの実現可能性

などについて、京都のビジネス環境の魅力を交えながら語っていただきます。

登壇者：倉林　進　　氏（DBJ キャピタル株式会社　代表取締役社長）
　　小島　拓朗　氏（三菱 UFJ キャピタル株式会社　代表取締役社長）
　　福岡　亮　　氏（京都キャピタルパートナーズ株式会社　ジェネラルパートナー）
　　八木　信宏　氏（京都大学イノベーションキャピタル株式会社　代表取締役社長、マネージングパートナー）
　　山岸　広太郎 氏（株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長）
ﾓﾃﾞﾚｰﾀｰ：阿部　博　　氏（有限責任あずさ監査法人 常務執行役員 インキュベーション部長 パートナー）
※　詳細は「６　登壇者等プロフィール」参照

4　タイムテーブル（予定）

時　間	内　容
午後６時３０分～午後６時３５分	オープニング
午後６時３５分～午後７時	各 VC から事業紹介
午後７時～午後７時３０分	トークセッション
午後７時３０分～午後７時４０分	京都市から Kyo-working の取組や事例紹介
午後７時４０分～午後８時３０分	交流会

5　申　込

（１）申込期間：令和８年１１月２日（月）～令和８年１１月１３日（金）正午

（２）申込方法：以下のリンクよりお申し込みください。

（URL: https://survey.zohopublic.jp/zs/fgCR0v）

（３）参加者の決定方法：応募多数の場合は抽選とします。

抽選結果は、令和８年１１月１７日（火）までにお申し込みいただいたメールアドレス宛にお知らせします。

（４）参加費：無料

6　登壇者等プロフィール（敬称略）



倉林　進（DBJ キャピタル株式会社　代表取締役社長）

日本開発銀行（現（株)日本政策投資銀行）入行後、法人融資、審査部門等を経て 2004 年より新規事業投資(株)（現 DBJ キャピタル）にて多数のベンチャー投資を実施し、複数の IPO 実績を有する。その後(株)日本政策投資銀行 経営企画部参事役、九州支店業務第一課長、業務企画部次長、北海道支店担当部長、北海道エアポート(株)出向、金融法人部長を経て、2025 年 3 月末 DBJ キャピタル(株)代表取締役社長就任。



小島　拓朗（三菱 UFJ キャピタル株式会社　代表取締役社長）

1991 年に株式会社三菱銀行（現：株式会社三菱 UFJ 銀行）へ入行。主に法人営業に従事し、鶴見支社長や江坂支社長、中野駅前支社長、船場支社長、拠点部部長（西日本）、執行役員地区本部長（東日本）などを歴任。2024 年 4 月に三菱 UFJ キャピタル株式会社代表取締役社長に就任。

明治大学商学部卒業。一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター（VEC）評議員。

<table>
<tr><td></td><td>福岡　亮（京都キャピタルパートナーズ株式会社 ジェネラルパートナー）
1998 年に京都銀行入行。支店で法人・個人の融資営業に従事。
2002 年から本部にて約 20 年間にわたり、ベンチャー支援業務やファンド関連、ビジネスマッチング関連の企画業務を担当。
2023 年から京都キャピタルパートナーズ設立を担当し、自らも同社へ出向。現在に至る。</td></tr>
<tr><td></td><td>八木　信宏（京都大学イノベーションキャピタル株式会社 代表取締役社長、マネージングパートナー）
2016 年 8 月より京都大学イノベーションキャピタル(株)にて投資を担当。 国内外において産官学の研究所に所属した広範な研究経歴を持ち、前職の大手製薬会社では学際融合によるニューモダリティ(新事業領域)の立ち上げを主導した。事業開発ライセンスの経験を有し、これまで関与した導出入契約の総額は USD1B を超える。ベンチャー投資においては事業領域を問わず、基礎研究の成果を基に新会社を組成する創業案件を得意とする。現在も化学や医学領域での教育研究を継続している。
経営者、研究者、同社の 3 者が協力してスタートアップ創業を行う ECC/EIR-iCAP の創設者。
2026 年 8 月、代表取締役社長に就任。博士（薬学）。</td></tr>
<tr><td></td><td>山岸　広太郎（株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長）
慶應義塾大学経済学部卒業後、(株)日経 BP に入社。編集やウェブ媒体の開発に従事した後、米国 CNET の日本法人にて「CNET Japan」の初代編集長に就任。2004 年に、グリー(株)を共同創業。副社長として事業部門などを 10 年以上統括し、東証 1 部上場まで導く。2015 年に KII を設立。アカデミアの世界とビジネスの橋渡しとなり、社会課題を解決するディープテックスタートアップの技術・研究の社会実装を支援。2023 年 10 月には大学 VC 初のインパクトファンド「KII3 号インパクトファンド」を設立。ファンド運用の合計額は 350 億円に上る。日本ベンチャーキャピタル協会にて常務理事及び産学連携部会長も務め、VC 業界の発展、大学発ベンチャーの創出に力を入れている。2021 年 5 月から 4 年間、慶應義塾の常任理事（財務、募金、起業家教育・支援担当）を兼務。</td></tr>
</table>

	阿部　博（有限責任あずさ監査法人 常務執行役員 インキュベーション部長 パートナー、KPMG ジャパン プライベートエンタープライズセクター スタートアップ統轄リーダー） 監査法人に入社して以来、主に金融商品取引法監査・会社法監査をはじめ、株式公開支援業務、デューデリジェンス業務などに従事。 現在は監査業務の他に、企業成長支援本部インキュベーション部長として大学発ベンチャーへのサポートや、オープンイノベーションのイベントを推進。 また、KPMG ジャパンの活動としてプライベートエンタープライズセクター スタートアップ統轄を担当し、スタートアップの発掘・育成支援に従事している。

＜お問合せ先＞
京都市産業観光局企業誘致推進室
（首都圏企業誘致推進担当）
電話：０３－６５５１－２６７２

京都で暮らし、京都から働く「Kyo-working｜京ワーキング」とは？

京都に逗留して、京都から首都圏や海外のチームと協働する。街や人、そして都市のすぐ近くに在る自然からのインスピレーションを得ながら、新しい事業のビジョン策定に集中する。そんな働き方が今、着実に増えています。

京都市は、企業の本市への拠点進出を促進するために、京都で暮らし、京都から働く新しいワークライフスタイルを、「Kyo-working｜京ワーキング」と名付けました。

これまで文化都市、観光都市として国内外に評価されてきた側面に加えて、経営者のクリエイティビティを刺激し、他にはないシナジーを事業にもたらす「ビジネス都市」として、京都市の新しい魅力を、企業誘致活動を通して発信しています。

京都市企業誘致サイト「Kyo-working｜京ワーキング」　（URL）https://kyo-working.city.kyoto.lg.jp/